

東京ホッケー協会 第7回理事会議事録

日時：平成28年9月10日（土）10:00～12:00

場所：ルノアール四谷3F会議室

出席者：（理事）和田明仁、一川邦彦、正田実、河原茂光、林正巳、菅野芳哉、青木剛、
右川誠治、鍋田茂子、三宅正美、（監事）箸本明雄、
（オブザーバー）高井通昌 JHA 常任理事、西澤英一郎 THA 競技長
10名中10名の理事の出席があり、本理事会は定足数を満たし、開催された。

【承認事項】

1. 第6回理事会議事録は問題なく承認された。（総務委員会）

【報告事項】

1. 第71回国体関東ブロック大会結果報告（反省と今後）（強化委員会）

新体制でエントリー作業から、チーム編成を行い、関ブロ予選出場にこぎつけたことは評価したい。しかし、具体的な取組み・活動展開が遅く思う様な強化が出来なかった事は残念である。

結果は各チーム1, 2回戦敗退となった。

国体強化委員会を至急開催して、2016年総括し、2017年活動方針を決めたい。

都体協関係者にも練習、試合に来ていただき、関心を持っていただいた。活動費の効果的な運用が望まれる。

2. 東京都認定アスリート推薦結果及び五輪候補選手強化事業分担金申請状況（強化委員会）

東京都認定アスリートに THA 正会員より U21 日本代表候補選手に選考された2名を推薦したところ、東京都より明治大学 谷光未有選手と早稲田大学女子 南有紗選手に認定決定通知が届いた。

これを受けて、都体協に「五輪候補選手強化事業」分担金（Max30万円 x 2名 = 60万円）の申請を行った。

9月27日に「東京アスリート認定選手」認定式が東京体育館で実施され、谷光選手と宮田監督出席予定、東京都 HP にも掲載される。

両名の活動報告をする義務があり、THA がフォローする。

3. THA ジャッジ講習会実施報告（競技委員会）

8月13・14日の両日、東大駒場グラウンドで開催中の七大学総合運動大会（通称、七帝戦）の場を活用し、西澤英一郎氏（THA 競技長）に講師をお願いして開催した。

猛暑の中、熱心なご指導を頂き受講生の集中力も維持され滞りなく終了し、以下の受講生7名が JHA の認定会議を経て資格を取得できる見通しである。（敬称略、申込順）

櫻井翔太（法政大学）、河邊隼太（法政大学）、徳増政幸（志木クラブ）、木内大輔（中央大学）、荒居宜行（学習院大学）、奥原健登（学習院大学）、右川誠治（THA）

なお、本講習会の収支は1,078円黒字で、認定料3000円は各自負担、JHA 公認ポロシャ

ツを各自購入する事となった。

4. 駒沢球技場人工芝化の状況と今後（総務・普及・競技委員会）

駒沢球技場の改修工事が進んでおり、フィールドの人工芝化工事は7月末に「スポーツ施設」社が落札した。駒沢の散水設備は不十分なためサンドベースとなるが、ホッケー用のショートパイルが敷設される。芝種は今年始めに張替えられた明治大学八幡山グラウンドと同種で、ポリエチレンのモノフィラメントであるという。北海道野幌の人工芝はナイロン製で固く、水を撒かないと火傷の恐れがあるが、ポリエチレンは柔らかい。東大駒場はポリエチレンであるが、フィルムをスリットしており、細かい端切れが出来やすい。

フィールド面積はサッカー競技が可能となっており、サッカー、ホッケーのラインが敷かれる事になっている。

6人制のラインを敷く事を要望したが、ゴール裏に10m高さの防球ネットを設置する事を優先したいとの回答である。

工期は今年末完成となっており、明年初めにJHAのグラウンド公認を取得し、利用料金を決定後にオープンになると言う。いつから申し込みを受け付けるかは今のところ不明である。オリパラ準備局の担当は、他競技との公平感を保つため、THAに先に情報を提供する事は出来ないとの事。

5. THA主催大会の開催に向けて（競技委員会）

ホッケー競技大会は「大会役員」（「実行委員会」を含め）、「競技役員」によって準備・運営・進行される。「競技役員」はTD、TO、ジャッジ、UM、アンパイアからなり、基本的にJHAの資格認定が必要である。

駒沢競技場、さらに五輪競技施設完成後の大会開催を考えると、競技役員の充実は急務である。特に、THAが主催乃至は主管する大会を開催しようというとき、大会開催を経験した「大会役員」も必要である。

今秋も関東学連主管でインカレを関東で開催するが、関東学連にはTHA所属校が多いにも関わらず、山梨・埼玉に頼らざるを得ないのが現状である。

6. 都高体連との協働深化について（競技・強化・普及委員会）

9/25の選抜大会終了後に都高体連の先生方と打合せを行い、今冬のスケジュールを考えたい。具体的な強化に繋がるよう、「教育リーグ」「高校生向けホッケークリニック」を計画したい。各校間の冬休み、テスト期間の調整が難しいと考えている。これ等の事業に掛かる経費は「ジュニア特別」の残金を充てたいと考えている。12月上旬には顧問会議があり、THAからの出席も求められており、明年度の計画立案に協力したい。高体連主催の大会と国体派遣チームの選考会及び強化・関プロ派遣の考え方、スケジュールの調整が急がれる。

7. 五輪関連事業の実施状況について（五輪関連委員会）

今夏メインであった品川区区民まつりホッケー体験は3か所で無事終了。「五反田フェスティバル」「大井どんたく祭り」も一般向けにホッケー体験してもらえた。秋以降も、品川区・

大田区ともホッケー教室、ホッケー体験目白押しなので委員の募集、参加取り進める。

8. H28 年度 JHA チーム登録状況（総務委員会）

秋季関東学生リーグ、マスターズ大会に向けての JHA 追加登録も一段落した。この結果、THA 正会員（=JHA 登録チーム）数は 51 となり、JHA 正会員 7 名（現状に比し 1 名増）を選出できる事となる。

登録作業については下記の様な問題があり、JHA に相談・改善を申し入れたい。

- ① 登録システムがまだ不完全であり、全国で最大のチーム登録数を有する THA にとって、この事により登録作業に大きな負荷が掛かった。
- ② 登録証紛失による再発行依頼がポツポツ発生しているが、例えば高校生の場合には、登録料より手数料の方が高くなり、精算方法を考えられないか。
- ③ JHA 競技役員個人登録やそれらに伴うセーター、ジャケットの配賦も各都道府県協会に委ねられており、これも負担である。

9. H28 年度 THA 収支見通し（総務委員会）

関ブロが終わり、都体協分担金事業の見通しも見えてきた。五輪関連も順調に進んでいる。

10. THA ホームページ開発・保守契約について（総務委員会）

前回の理事会前の打合せを踏まえ、契約案を作成し、非公式にフレッシュ&ブリッジ社の合意を得ている。

①業務委託契約②HP 保守について③個別契約について、理事会で承認され、契約締結へ進める。

11. 第 2 回 THA 連絡会の進め方について（総務委員会）

10 月 1 日 10:00~12:00 品川総合体育館 B1F 会議室において THA 第 2 回連絡会を開催する。H28 年度も半期を終え、この間の THA の活動を会員に報告し、忌憚のないご意見をいただき、今後の活動に生かして行きたい。

議題としては以下の内容を考えている。

- ・駒沢球技場の利用について（今年末に人工芝化工事竣工予定）
- ・THA 主催大会の実現に向けて一競技役員の増員について
- ・東京五輪 2020 に向けて一品川区・大田区等の普及活動について
- ・国体チームの報告―「強い東京へ」の実現に向けて
- ・意見交換

12. H29 年度 THA 総会スケジュール（総務委員会）

今年度は 4 月 23 日（土）に開催した。来年度は 4 月 22 日（土）を目標として進める。THA 規約では JHA 正会員選出は総会決議に拠る事となっており、JHA 総会のタイミングからは

この時期の開催が求められる。東京五輪 2020 もいよいよ現実味を帯び、JHA との連携も重視しなければならない時期に来ている。問題は THA 決算が間に合うかであり、都体協分担金事業については早めに報告をまとめるようにしたい。役員人事については、改選期ではないので、大きな問題はないものと理解している。H29 年度事業計画については、第 2 回 THA 連絡会における議論等を踏まえ、前広に考えて行きたい。

13. その他

JHA の状況と五輪実行委員会委員の推薦について

【確認事項】

1. 今後の理事会開催日

10 月 8 日(土)に第 8 回理事会を開催する。これに先立ち、10 月 1 日(土)第 2 回 THA 説明会を開催する。


上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長及び副会長が署名捺印した。

平成 28 年 9 月 10 日

東京ホッケー協会

会長

和田 明仁

和田 明仁 

副会長

一川 邦彦

一川 邦彦 